

各位

2026 年7月9日
オリエンタルチェーン工業株式会社
(東証スタンダード:6380)

製造業者への AI 活用支援の事業化検討開始に関するお知らせ

当社は、連結子会社であるオリエンタル GB 株式会社において、主に製造業者への AI 活用支援の事業化検討を開始することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

1. 事業化検討開始の背景

当社は、伝動用ローラチェーン、コンベヤチェーン、スプロケット類及び金属射出成形部品の製造販売を主たる事業として、長年にわたり、産業機械分野を中心とするお客様の要望に応じた製品・サービスの提供に取り組んでまいりました。

一方で、近年、生成 AI をはじめとする AI 技術は、製造業を含む幅広い産業において、生産性の向上やコスト構造の改善を実現する手段として急速に普及しつつあります。既存事業で培った品質管理、工程管理、技術開発及び顧客基盤を活かしつつ、新たな成長機会を取り込むことを目的として、主に製造業者に対する AI 活用支援等について事業化の検討を開始することといたしました。

本件事業化検討を通じて、既存の製造業向け事業との相乗効果を創出するとともに、中長期的な収益基盤の多様化及び企業価値の向上を図ってまいります。

2. 事業化検討の概要

(1) 事業の名称	製造業者への AI 活用支援事業
(2) 事業化検討を担当する会社	オリエンタル GB 株式会社
(3) 事業化検討の内容	当社の既存製造事業で培った知見等に基づき、以下の事業化を検討 ① 企業向け AI 活用支援: 生成 AI 導入、業務プロセス改善、データ分析、AI アプリケーション又は関連システムの企画・開発・運用支援 ② 製造業向け DX・AI ソリューション: 品質管理、生産管理、設備保全、需要予測等に係るデータ活用支援 ③ 上記各号に関連する外部事業者との協業、技術検証、サービス企画及び販売活動
(4) 対象顧客	製造業を中心とする国内企業
(5) 事業化検討の進め方	当社製品製造にかかる生産コストの管理や生産性向上への AI 活用を目指すテスト事業を開始いたします。テスト事業の実施に向けては、現在、外部専門業者との連携について協議を開始しており、将来的には AI の開発・運用ノウハウの内製化も視野に入れております。本テスト事業の成果を確認しながら、製造事業者を中心とする AI 活用支援事業として展開することを計画しております。
(6) 開始時期	2026 年7月以降、当社内テスト事業を開始 以降、当社内テスト事業の成果に応じて対外的な事業展開を検討予定
(7) 投資予定額	当初は、営業活動、技術検証環境、クラウド環境、人材採用又は外部専門人材の活用等に必要な範囲で段階的に支出する予定です。 重要な設備投資、資金調達、固定資産の取得・リース又は業務提携等を決定した場合には、速やかにお知らせいたします。

3. 今後の見通し

本件による 2027 年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微であると見込んでおります。今後、公表すべき事項又は業績予想の修正が必要となる事項が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

また、本事業の推進に伴い、業務提携、固定資産の取得・賃借、子会社の設立・取得その他の適時開示事項に該当する決定を行った場合には、関係法令及び東京証券取引所の規則に基づき、適時適切に開示してまいります。

なお、本事業の推進及び当社グループにおける AI の利用にあたっては、グループ共通の「AI 利用ガイドライン」の策定を進めており、機密情報等の入力制限、利用できる AI サービスの承認制、生成物に対する人による検証、管理責任者の設置等のルールのもと、情報セキュリティ及びガバナンスに十分配慮した運用を行ってまいります。

また、本事業は、オリエンタルGB株式会社取締役の三方浩允が管掌し、事業展開を推進してまいります。

以上